

第75回 東北支部研究報告会

日程・会場

日程——6月16日(土)・17日(日)

会場——八戸工業大学(八戸市妙字大開88-1 TEL0178-25-3111)

・車で来られる方は学内の駐車場がご利用いただけます。

・16日・17日と大学の食堂が営業しております。また、大学周辺にコンビニもございます。

・支部研究発表会場の1階が学生ホールとなっておりイスとテーブル、自販機等がございますので昼食や休憩スペースとしてご利用下さい。

宿泊のご案内

八戸観光コンベンション協会を通じて八戸市内の宿泊お申込みができますので、支部のHPをご覧ください。

申込み方法——申込書に必要事項をご記入の上、FAX(0178-41-1680)にてお申込みください。

申込み・問合せ——(社)八戸観光コンベンション協会「日本建築学会東北支部研究報告会」係宛

TEL0178-41-1661 FAX0178-41-1680(担当)沼田・畠山

申込み締切——2012年5月31日(木)必着

発表者へのお願い

発表時間——1人10分(発表7分 質疑応答3分)

・PCは各自でご持参くださいますようお願いいたします。会場にはPCプロジェクター、スクリーンを用意しております。

・発表の順番になりましたらPCに電源をいれて準備して下さい。

・発表の前に必ず総合受付に備えております受付名簿に学会会員番号と氏名をご記入ください。

・論文を提出した方は必ず報告会へ出席して発表することになっておりますが、やむをえず出席できない方は必ず事前に講演番号タイトル・氏名を明記のうえ、事務局までメールかFAXにてご連絡をお願いします。

報告集(CD-ROM版)ならびに請求書の発送について

発表者への報告集(CD-ROM版)の贈呈、報告集(冊子版)を予約申し込みされた方々には5月25日前後に発送予定です。校費払いでお支払の方への請求書もCD-ROMの贈呈と同封いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

報告集(CD-ROM版・冊子版)の販売について

発表者以外で報告集の購入を希望される方は支部のHPよりお申し込みをお願いします。

CD-ROMと冊子は当日受付にて販売いたしますが、冊子は数量限定となっておりますので、ご購入を予定されている方は事前にご注文をお願いします。

懇親会のご案内

日時——6月16日(土)17:30～19:30

会場——八戸グランドホテル(八戸市番町14)

会費——4,000円

申込方法——6月8日(金)までに支部事務局へメールにてお申し込みください。メールの件名は「みちのくの風2012青森懇親会申込」をお願いいたします。参加者氏名・所属・連絡先を明記くださいますようお願いいたします。

付随行事・招待講演(構造系)

日時——6月16日(土)11:40～13:10

会場——八戸工業大学 メディアセンター

テーマ——大きな自然と厳しい自然災害、そして我々にできる4つの対策

講演者——和田章氏(本会会長/東京工業大学名誉教授)

主旨説明——このたびの東日本大震災を起こした地震は六百年、千年に一度の極めて稀な地震といわれている。大震災を受け、我々日本人は何処に住み①、どんな構築物②を作って生きていけばよいのか、まじめに考えなければならない。千年に一度の巨大な津波が怖いから、これらの土地は田んぼや畑にして、津波から逃げて岡の上で暮らす方法も考えられる。絶対に壊れない防潮堤を作ることは不可能ではないが膨大な資金が必要である。津波が襲っても倒れない丈夫な建物は建てられる。津波避難ビルを作ることもできる。このほか、津波の予想、警告などの仕組みを整備し、道に避難経路を書き込む、普段から避難訓練を行い予測が小さくても極力逃げる習慣など、人命を守るためのソフト対策③は取り得るもう一つ残る大きな問題は、六百年、千年に一度とはいえ津波に襲われて海の底になる低地に建設される建築や漁港施設、港湾、プラント、海に浮かぶ船などの財産や機能の喪失である。これらのリスクを転嫁する方法④を考えなければならない。例えば、全国に2か所の工場を持つ船や建物に保険を掛けるなどである。東日本で被災された地域の惨状は厳しい。各地の状況や地形、産業は同じでないから、単純な解決策はないが、上記の4対策、①何処に住むか、国土計画からまち作り、②防波堤・建築物などの構造、③ソフト対策、避難訓練など、そして④リスク転嫁の組み合わせで考察し、方針を定め、素早い復旧・復興が望まれる。

付随行事・招待講演(計画系)基調講演+パネルディスカッション

日時——6月17日(日)10:30～12:30

会場——八戸工業大学 メディアセンター

テーマ——前夜の東北から考える震災後のパースペクティブ

講演者——青井哲人氏(本会理事/会誌編集委員長/明治大学准教授) 芳賀沼整氏(建築家 はりゅうウッドスタジオ)

パネルディスカッション——青井哲人氏(前掲)、芳賀沼整氏(前掲)、鈴木孝男氏(宮城大学)

コーディネーター——坂口大洋氏(仙台高専)、大沼正寛氏(東北工業大学)

主旨説明——震災から1年余が経過した。思えば激動の時間であった。互いの安否を確認し、死者をおくり住まいを確保し、瓦礫を撤去する。とりわけ福島県民にとっては、緊急避難状態は未だ継続している。かつての町は、もはや痕跡が見当たらないところも多い。いま私たちは、かつてない厳しい条件下で、くらしや生産を建て直さなくてはならないが、失ったそれまでの有形無形の蓄積を無視することもできないだろう。むしろここで一度、3.11の前夜、つまり昭和史の歩みを問い直し、立ち返るべきもの、伝えるべきもの、そして変えるべきものを見据えることが重要と考える。日本建築学会では、この観点にたち、2012年の機関誌「建築雑誌」において、「前夜の東北」(2012年1月号)なる特集を組み、多彩な分野から昭和史をひも解く作業を行ってきた。この計画系シンポジウムでは、本特集の中心を担当し編集委員長を務める青井哲人氏(明治大学)を中核に、福島を中心に積極的なフィールドワークをベースに、仮設住宅などの様々なプロジェクトを展開する会津の建築家芳賀沼整氏(はりゅうウッドスタジオ)、震災後の集落の復興支援に詳しい農村計画を専門とする鈴木孝男氏(宮城大学)を加え、幅広くかつ実践的なディスカッションを展開していきたい。

第32回東北建築賞表彰式並びに受賞記念講演会

日時——6月16日(土)16:00～17:30

会場——八戸グランドホテル(八戸市番町14)

第32回東北建築賞受賞作品パネル展示、JIA 青森等作品展示並びに東北支部法人会員技術報告、建築作品展示会

日時——6月16日(土)・17日(日)の2日間

会場——八戸工業大学 教養棟1階学生ホール

計画系

6月16日(土)9:30～10:30 G201教室

●計画I

司会：菊池義浩(仙台高等専門学校)

- A-01 インテリアにおける空隙及び未活用空間に対する意識
地方における大学生の居住空間を対象として
○柴山大樹(秋田県立大学)、込山敦司
- A-02 戸建て住宅のリフォームにおける減築とその意図に関する研究
○島 淳一(東日本ハウス(株))、込山敦司
- A-03 中間領域の空間構成が内と外のつながりに及ぼす影響
ー中間領域の奥行き、開口幅、床高さ、庇に関する実験的研究ー
○千葉 遥((有)acaa建築研究所)、込山敦司
- A-04 街並み体験時の視線誘導と印象評価に音環境が与える影響
○小澤弘毅(高松建設(株))、込山敦司
- A-05 自宅外の作業場に求められる要因に関する研究
定量評価と定性評価(印象評価)からみた作業場の特徴
○阿部泰大(奥羽木工所)、山畑信博
- A-06 トイレブースのデザインにおける開放感と安心感に関する検討
○佐藤尋亮(秋田県立大学)、込山敦司

6月16日(土)10:30～11:20 G201教室

●計画II

司会：沼野夏生(東北工業大学)

- A-07 公立図書館のサービス特性に関する研究
東北6県の公立図書館を事例として
○五戸浩章(八戸工業大学)、石川宏之
- A-08 夜行バス利用者の実態調査と施設計画
○廣木花恵(ジャスベル(株))、山畑信博
- A-09 仙台キリスト教育児院における生活と空間の変遷に関する研究
その3 院舎全面改築～現在
○武石 拡(仙台高等専門学校)、本間敏行、坂口大洋
- A-10 災害時における避難施設に関する研究
ー学校の避難所運営と防災活動の今後の課題についてー
○菅原雄一(八戸工業大学)、鳥山香織、月館敏栄
- A-11 東北地方における東日本大震災による公共文化施設の被害状況と
復旧プロセス
○西條美春(仙台高等専門学校)、坂口大洋

6月16日(土)13:30～14:40 G201教室

●計画III

司会：浦部智義(日本大学)

- A-12 東北地方の過疎地域における既存ストック活用方法の実践的研究
その1
○高橋麻由美(仙台高等専門学校)、坂口大洋
- A-13 昭和三陸津波による集団移転計画地の実態と今次津波による被災
状況について
○沼野夏生(東北工業大学)、菊池義浩
- A-14 高原リゾート観光地・裏磐梯の歴史と現状
裏磐梯に関する研究(その1)
○川崎興太(福島大学)
- A-15 PBLシステムを用いた少人数グループのリーダー育成計画に関する
考察
その3「PBLによる組込みシステム技術者の養成」の実施状況につ

いて(2011年)

- 菊池義浩(仙台高等専門学校)、内海康雄
- A-16 郊外住宅団地における高齢者の平常時と災害後の交流活動の変化
ー仙台市鶴ヶ谷団地の場合ー
○吉村 東(東北大学)、石坂公一
- A-17 災害時における住宅地の集会所の利用実態と住民意向
ー東日本大震災：宮城県塩竈市の場合ー
○吉村 東(東北大学)、石坂公一
- A-18 震災におけるマンションの被害特性
○鳴海はるか(東北大学)、石坂公一

6月17日(日)9:30～10:20 G201教室

●計画IV

司会：石坂公一(東北大学)

- A-19 地域振興に火山災害遺構を活かすための博物館活動による推進協
議会のエリアマネジメントに関する研究
平成新山フィールドミュージアムと島原半島ジオパークを事例として
○石川宏之(八戸工業大学)
- A-20 駐車場の属性からみた地方都市中心市街地の実態と住機能を組み
込む行政施策の検討に関する研究
青森県八戸市中心市街地を事例として
○石川宏之(八戸工業大学)
- A-21 観光まちづくり地における観光客と地域住民の違いによる景観の
評価傾向と来訪意向に関する研究
秋田県仙北市角館中心市街地を対象として
○伊藤正太(秋田県立大学)、山口邦雄
- A-22 公共交通アクセシビリティからみた住宅地の評価
○内海康也(東北大学)、青木尚志、石坂公一
- A-23 居住資源賦存量の評価手法
○内海康也(東北大学)、石坂公一

6月17日(日)13:00～14:00 G201教室

●計画V

司会：坊城俊成(横浜美術大学)

- A-24 宮城県柴田郡村田町における土蔵の架構に関する研究
○太田彩月(山形大学)、永井康雄
- A-25 秋田藩の郷校建築に関する研究
○石川美由佳(山形大学)、永井康雄
- A-26 農村歌舞伎舞台の空間的特質に関する一考察
ー前郷口枝神社神楽殿の配置構成と断面構成ー
○石塚真央(秋田県立大学)、安部井 喬、崎山俊雄
- A-27 斎藤報恩会博物館の建設経緯について
○河田 健(佐藤総合計画)
- A-28 旧多賀城海軍工廠の機銃発射場建物について
○小山祐司(東北工業大学)、中村隼人、鈴木孝行
- A-29 明治20年代～30年代前半期における群馬県の官舎建築について
明治中期の地方官舎建築に関する研究
○崎山俊雄(秋田県立大学)

6月17日(日)14:00～15:00 G201教室

●計画VI

司会：崎山俊雄(秋田県立大学)

- A-30 ハンス・ハンマー・フォン・ヴェルトの画譜(その4)
ーゴシック大聖堂建設の寸法決定、施工・材料についてー
○坊城俊成(横浜美術大学)
- A-31 ハンス・ハンマー・フォン・ヴェルトの画譜(その5)
ー画譜と実作品(説教壇・三位一体礼拝堂)、そして宗教改革前夜ー
○坊城俊成(横浜美術大学)
- A-32 エーロ・サーリネンの建築作品における壁面構成について

○野澤翔太(秋田県立大学)、荻谷哲朗、崎山俊雄

- A-33 近代日本における刑務所建築と都市の関係性に関する研究
秋田刑務所を対象として

○佐藤彩夏(秋田県立大学)、崎山俊雄

- A-34 平成23年東日本大震災による岩手県青森県の歴史的建造物の被害と保全に関する研究

○石鉢幸子(八戸工業大学)、島山香織、月館敏栄

- A-35 建築名称から得られるイメージと建築構法の関係に関する研究

○伊藤 敦(東北大学)、石坂公一

6月16日(土)9:45~11:15 G202教室

●環境工学I

司会：須藤 諭(東北文化学園大学)

- B-01 紫外域日射量推定モデル開発に関する研究

既往推定モデルの比較検証と紫外日射観測データの分析

○細淵勇人(秋田県立大学)、松本真一、長谷川兼一

- B-02 断熱改修及びCGS・PV導入住宅を対象としたLCA分析による省エネルギー改修手法の評価

○芳岡里美(東北大学)、吉野 博、内田哲晴、猪野琢也

- B-03 仙台市の住宅におけるエネルギー消費と居住者の省エネルギー意識に関する統計分析

○三浦綾子(東北大学)、吉野 博、西谷早百合、中村佐和子

- B-04 CFD を用いた飛雪現象の数値予測のための雪粒子の影響を表現するサブモデルの開発

○高野芳央(東北大学)、大風 翼、佐々木康友、持田 灯、富永禎秀

- B-05 建物内の配管内の残留塩素の挙動

水温の影響及び残留塩素の減少

○今井正樹(日本上下水道設計(株))、岡田誠之

- B-06 受水槽を活用した非常用飲料水等の供給

○制野達己(東北文化学園大学)、岡田誠之、前田信治

- B-07 排水・通気管内の臭気の実態調査

○福井啓太(東北文化学園大学)、岡田誠之

- B-08 浴場施設における浴槽内の水の流れの特性

○佐野達也(東北文化学園大学)、岡田誠之

- B-09 電解法におけるリンを対象とした循環量及び回収に関する研究

○久住知裕(東北文化学園大学)、前田信治、岡田誠之、福井啓太

6月16日(土)13:30~14:30 G202教室

●環境工学II

司会：前田信治(東北文化学園大学)

- B-10 全国宿泊建物のエネルギー消費原単位の推定に関する研究 その1 エネルギー消費原単位の規模別・地方別の分析(平成21年度調査)
○須藤 諭(東北文化学園大学)、井城依真、吉野 博、村上周三、坊垣和明、松縄 堅、亀谷茂樹、高口洋人、半澤 久、奥宮正哉、浅野良晴、下田吉之、村川三郎、依田浩敏

- B-11 全国宿泊建物のエネルギー消費原単位の推定に関する研究 その2 エネルギー消費原単位に関する統計分析(平成21年度調査)

○井城依真(東北文化学園大学)、須藤 諭、吉野 博、村上周三、坊垣和明、松縄 堅、亀谷茂樹、高口洋人、半澤 久、奥宮正哉、浅野良晴、下田吉之、村川三郎、依田浩敏

- B-12 秋田県を対象とした民生家庭部門のエネルギー消費量の将来予測 その1 農業地域と都市的地域における住宅のエネルギー消費特性に関するアンケート調査

○長谷川兼一(秋田県立大学)、齋藤綾加、松本真一、細淵勇人

- B-13 秋田県を対象とした民生家庭部門のエネルギー消費量の将来予測 その2 マクロモデルの構築とエネルギー消費量の将来推計

○齋藤綾加(秋田県立大学)、長谷川兼一、松本真一、細淵勇人

- B-14 自治体GISを用いたLCCO₂評価による低炭素社会へのロードマップ作成支援に関する研究

その2 アンケート調査結果による暖冷房と家電のエネルギー消費量の推計

○高山あずさ(秋田県立大学)、浅野耕一、立花 葵

- B-15 自治体GISを用いたLCCO₂評価による低炭素社会へのロードマップ作成支援に関する研究

その3 アンケート調査結果による私的交通エネルギー消費量の推計

○立花 葵(秋田ハウス)、浅野耕一、高山あずさ

6月17日(日)9:30~10:20 G202教室

●環境工学III

司会：菅原正則(宮城教育大学)

- B-16 東日本大震災被害3県における復興住宅の熱環境設計のための気候区分図の提案

○松本真一(秋田県立大学)、長谷川兼一

- B-17 仙台市における東日本大震災に伴う上水道被害と被災時応急給水方策

○渡邊浩文(東北工業大学)、石橋直也

- B-18 居住環境と健康障害との関連性に関する調査

その11 アンケート調査(Phase 2)での結露やカビ発生に関するロジスティック回帰分析結果

○北澤幸絵(東北大学)、吉野 博、長谷川兼一、阿部恵子、池田耕一、加藤則子、熊谷一清、三田村輝章、柳 宇、浜田健佑

- B-19 居住環境と健康障害との関連性に関する調査

その12 実測調査(Phase3)での室内温湿度と微生物濃度に関する重回帰分析結果

○北澤幸絵(東北大学)、吉野 博、長谷川兼一、阿部恵子、池田耕一、加藤則子、熊谷一清、三田村輝章、柳 宇、浜田健佑

- B-20 由利本荘市旭町における自治体情報システムと連動した被災者安否確認実験

○浅野耕一(秋田県立大学)

6月17日(日)13:00~14:00 G202教室

●環境工学IV

司会：松本真一(秋田県立大学)

- B-21 在室行動の規則性を利用した予測空調制御の提案

○菅原正則(宮城教育大学)、大平英倫子

- B-22 BEMS導入建物の時刻別一次エネルギー消費分析

ー東北地方の商業施設・中部地方の事務所建築を事例としてー

○千葉満輝(東北工業大学)、渡邊浩文、原 英嗣

- B-23 細街路空間における各種壁面が温熱環境に及ぼす影響に関する実測調査研究

○神谷宗一郎(東北工業大学)、渡邊浩文

- B-24 空調フィードフォワード制御のための地域気候情報の分析

○面川大明(東北工業大学)、渡邊浩文、内海康雄、木村竜土、渡部順一

- B-25 屋外温熱環境実測に基づいた広瀬川の保有する気候緩和効果に関する研究

○大多和 真(東北大学)、菊地 大、弓野沙織、菅原正徳、持田 灯、渡邊浩文

- B-26 居住者からのCO₂および水蒸気発生を利用した在室人数推定における誤差の許容範囲

○菅原正則(宮城教育大学)、靱山 愛

構造系

6月16日(土)9:45~11:15 G203教室

●材料施工I

司会：月永洋一(八戸工業大学)

- C-01 東北地方太平洋沖地震における茨城県古河市の建築物被害調査

- 松村光太郎(宮城学院女子大学)
- C-02 木造建築LCAのための集成材製造工程エネルギー消費に関する事例調査
○板垣直行(秋田県立大学)、菅野このみ
- C-03 コンクリートの表層透気性に及ぼす表面含水率および空気量の影響に関する一検討
○権代由範(仙台高等専門学校)、佐藤茂弥、庄司 等、月永洋一
- C-04 コンクリート表層部脆弱層の形成に関する研究
断面厚さおよび水セメント比による検討
○佐藤陽貴(八戸工業大学)、月永洋一、阿波 稔、迫井裕樹、権代由範
- C-05 コンクリートに用いる硬質砂岩及び遷移帯の基礎的力学性状に関する考察
○蛭川秀紀(秋田県立大学)、佐藤あゆみ、山田寛次、石山 智
- C-06 ネットワーク及び補修剤を用いた自己修復コンクリートの繰り返し修復に関する検討
○大平旭洋(日本大学)、三浦裕騎、Sanjay PAREEK
- C-07 Cu-Al-Mn 超弾性合金を用いた自己修復コンクリートの基礎的研究
○三 浦 裕 騎(日本大学)、Sanjay PAREEK、荒 木 慶 一、Kshitij Shrestha、大平旭洋
- C-08 補強用竹素材にエマルション塗布した場合の竹補強セメントモルタルの曲げ性状
○木村彰吾(日本大学)、齋藤俊克、出村克宣
- C-09 CO₂削減を目的としたインド及び日本産フライアッシュを用いた無焼成レンガの圧縮強さに及ぼす影響
○齋藤雄仁(日本大学)、Sanjay PAREEK

6月16日(土)13:30~14:30 G203教室

●材料施工II

司会: 石山 智(秋田県立大学)

- C-10 鋼繊維形状および水結合材比がハイブリッド型繊維補強セメント複合材料の引張性能に及ぼす影響
○吉田理紗(東北大学)、菊田貴恒、西脇智哉、三橋博三
- C-11 鋼繊維を混入したハイブリッド型SHCCの引張特性に与える試験体形状の影響
○菊田貴恒(東北大学)、三橋博三、西脇智哉
- C-12 繊維補強セメント複合材料を利用したハニカムパネルの開発に関する基礎的研究
○中川佑哉(東北大学)、西脇智哉、菊田貴恒
- C-13 超高強度高靱性FRCCの実現のためのフックエンド型鋼繊維の引抜き特性に関する検討
○松坂直樹(東北大学)、西脇智哉、菊田貴恒、三橋博三
- C-14 マイクロカプセル化手法による収縮低減剤の性能改善に関する基礎的研究
○西脇智哉(東北大学)、西谷茉莉、三橋博三、菊田貴恒
- C-15 FRCCのひび割れ自己治癒性状と破断面の凹凸性状の関係に関する研究
○山田 洵(東北大学)、西脇智哉、三橋博三、菊田貴恒

6月17日(日)9:30~10:20 G203教室

●材料施工III+防火

司会: 山田寛次(秋田県立大学)

- C-16 津波を受けた住宅基礎コンクリートの塩害に関する基礎的研究
○石山 智(秋田県立大学)、山田寛次
- C-17 コンクリート鉛直打継ぎ界面傍部の脆弱層の形成機構に関する考察
○佐藤あゆみ(秋田県立大学)、蛭川秀紀、山田寛次、石山 智
- C-18 結合材をビニロン繊維補強セメントモルタルとしたポーラスコンクリートの曲げ性状
○十文字拓也(日本大学)、齋藤俊克、出村克宣
- C-19 カルシウム系防せい剤を用いた鉄筋防せいペースト及び断面修復モ

ルタルの防せい性評価

- 飯野将広(日本大学)、渡辺宗幸、齋藤俊克、出村克宣
- C-20 建築用内装仕上げ材の防火性能に関する研究
施工5年経過後の防火性能
○安藤祐太郎(日本大学)、Sanjay PAREEK

6月16日(土)9:45~11:15 G204教室

●構造I

司会: 船木尚己(東北工業大学)

- D-01 東北地方太平洋沖地震及び近年の地震における仙台市の地盤震動特性に関する研究
○三屋栄太(東北大学)、大野 晋、源栄正人
- D-02 2011年東北地方太平洋沖地震による津波被害調査に基づく津波外力の検討
津波被害事例S造構造物の水平耐力と浸水深に関する考察
○小幡昭彦(秋田県立大学)、西田哲也、寺本尚史、菅野秀人、石山智、小林 淳
- D-03 1質点弾塑性系の応答変形と降伏耐力の関係
東北地方太平洋沖地震の波形による検討
○益野英昌(仙台工業高等学校)、柴田明徳
- D-04 慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた制振フレーム試験体の加振実験
○船木尚己(東北工業大学)、藤田智己
- D-05 転動柱基礎免震システムの基本設計法の提案
○藤田智己(仙台高等専門学校)、船木尚己
- D-06 ユニフロー式性能可変オイルダンパーの開発とその応答性状に関する解析的検討
○三木広志(東北大学)、井上範夫、五十子幸樹、池永昌容、渡辺真司、南 雅之
- D-07 1.5層スペースフレームの形態安定性とデザインの多様性についての研究
○陳 沛山(八戸工業大学)、水島潤弥
- D-08 傾斜機能材料はりにおける波動伝播
○桜井 宏(仙台高等専門学校)
- D-09 立体組合せパネル構造に関する研究
○陳 沛山(八戸工業大学)、工藤聖来、西野大貴

6月16日(土)13:30~14:40 G204教室

●構造II

司会: 五十子幸樹(東北大学)

- D-10 等価線形モデルを用いた軸力制限機構付き同調粘性マスダンパーの有効性の検討
○由川太一(東北大学)、長瀬拓也、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫
- D-11 軸力制限機構が同調粘性マスダンパー付き制振構造物の地震応答性状に及ぼす影響
○菊地建人(東北大学)、由川太一、長瀬拓也、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫
- D-12 回転増幅機構と軸力制限機構を有する粘性マスダンパーによる免震構造物の地震時応答制御
○掛本啓太(東北大学)、中南滋樹、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫
- D-13 二段階最適設計法による多段方式連結機構摩擦ダンパー付き免震住宅の設計
○福見祐司(東北大学)、全 昌龍、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫
- D-14 同調粘性マスダンパー付き多質点系建物モデルの地震時応答評価
○渡邊一矩(東北大学)、藤田政也、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫
- D-15 地震入力レベルを考慮したMRダンパー用可変精門制御の制御力-変位関係の検討
○熊谷 成晃(東北大学)、池永 昌容、五十子 幸樹、井上 範夫
- D-16 MRダンパーに適用される擬似複素減衰制御の改善手法に関する

研究

○成田 悠(東北大学)、照井正是、柏倉優太、池永昌容、五十子幸樹、井上範夫

6月17日(日)9:30~10:20 G204教室

●構造Ⅲ

司会：西田哲也(秋田県立大学)

- D-17 被災RC造建物の残存耐震性能に及ぼす部材の影響度と部材特性の関係
○前田美里(東北大学)、三浦耕太、前田匡樹
- D-18 偏心を有するRC造建物における合理的な構面ごとの耐力決定手法に関する研究
○漆原義基(秋田県立大学)、村上純一、菅野秀人、西田哲也、小林 淳
- D-19 サブストラクチャ擬似動的実験に基づくRC造ピロティ架構のエネルギー応答
○菅野秀人(秋田県立大学)、榛葉亮太、寺本尚史、西田哲也、小林 淳
- D-20 異なる崩壊形式をもつRC造ピロティ建物の損傷度評価に関する実験的研究
○滝澤圭亮(秋田県立大学)、高橋朋希、寺本尚史、西田哲也、小林 淳
- D-21 鋼製永久型枠を用いたRC造梁部材の継手位置が及ぼす曲げ性状に関する研究
RC造梁部材の継手位置が及ぼす曲げ性状
○遠藤正美(日本大学)、鈴木裕介、Sanjay PAREEK

6月17日(日)13:00~14:10 G204教室

●構造Ⅳ

司会：李晩在(仙台高等専門学校)

- D-22 全層梁降伏型中低層鉄骨ラーメン架構の柱脚機構における鉄骨柱支点部の軸力伝達機構の解明
○小笠原麻央(東北大学)、木村祥裕
- D-23 全層梁降伏型鉄骨ラーメン構造の損傷メカニズムと弾性柱による損傷分散効果
○大塚友理(東北大学)、木村祥裕
- D-24 モーメント勾配を考慮したH形鋼梁の弾塑性横座屈応力度及び補剛力・補剛モーメント評価
○吉野裕貴(東北大学)、木村祥裕
- D-25 溶接入熱及びパス間温度変化による溶接金属の機械的性質に関する研究
ー裏当て金付き横向姿勢溶接の積層標準化ー
○高橋順一(東北鉄骨橋梁(株))、渡辺 稔
- D-26 既存鉄骨造はり継手の補強方法に関する研究
○本田 優(日本大学)、浅里和茂、千葉正裕、日比野 巧
- D-27 ブレース接合部におけるガセットプレートに関する研究
ーガセットプレートの引張試験ー
○土屋幸作(仙台高等専門学校)、高橋秀治、李 晩在
- D-28 ブレース接合部におけるガセットプレートに関する研究
ガセットプレート引張試験の有限要素解析
○高橋秀治(仙台高等専門学校)、李 晩在、土屋幸作